

生物化学専修

基本理念

生物化学専修

融合

「物作り(design & synthesis)」を柱とする「化学」

「解明(analysis)」を柱とする「生物学」

グローバルな時代を迎え、それに対応しつつも重厚な存在感を保ち、新たに未来を切り拓いて豊かな社会を生み出すためには、ユニークで新しい学問領域の創出と真のリーダーシップを持った未来開拓型人材の育成が求められている。



従来の学問体系の枠を超えた、新たな教育研究体制の構築が重要である。

「物作り(design & synthesis)」を柱とする「化学」と、「解明(analysis)」を柱とする「生物学」に注目し、これらを融合した分野を創出する。

生物化学専修

学問分野

学部・学科教育において広範囲な基礎および専門教育を習得した学生が、化学と生物学を自身の専門として選択し、その専門性を深めて更なる可能性を広げるために、主専門教育分野として「生物化学」を修めるものとする。

学部における化学と生物学に関連する科目を、自然・生命現象を化学の言葉で[理解]するための学術的基盤と位置づけ、

大学院において、それらをより深く[理解]し、化学の手法で[制御]し、実際に[活用]することに重きをおいた教育研究体制を構築する。